

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	東洋医学概論3	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉 東洋療法学校協会編 医道の日本社						
担当教員情報							
担当教員	奥山 夕記子			実務経験の有無・職種	有・鍼灸師		
学習目的							
東洋医学の基礎的な概論を理解したうえで、病理変化に伴う体の状態を把握できる。発病因子によって起こる経絡系の病理変化には、経絡病証を始め、様々な病態把握系統があるが、ここでは気血津液病証と経絡病証、六経病証をとりあげる。それぞれの特徴を理解し、臨床の際に最も有効であると考えられるものを選択できる力を養う。							
到達目標							
臓腑の生理と病理と東洋医学的な診断法が理解できる。患者の身体の状態を正しく把握し、東洋医学的な弁証を行うことができる。臨床では東洋医学用語を患者にわかりやすい言葉に置き換えて説明できる。並行する診察学応用1と中医学概論1の授業を総合することで臨床の中で東洋医学を応用できる。							
教育方法等							
授業概要	中医学1と並行して行う為、中医学1の理解度の確認を随時行う。東洋医学概論に基づいた総合的な観点で考えられる力を養い、病態を正確に把握し、臨床へと進められるように育成する。個人ワーク以外にグループワークを取り入れる。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	期末試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	東洋医学概論 東洋医学の治療原則その1			洋医学独自の診察方法を把握できる			
2回	東洋医学概論 東洋医学の治療原則その2			東洋医学独自の診察方法を把握できる			
3回	東洋医学概論 八綱病証 虚実 寒熱 表裏			最も基本的な病証論（寒証と熱証）が理解できる			
4回	東洋医学概論 八綱病証 虚実 寒熱 表裏			病邪と正気の状態を把握できる（虚証と実証）			
5回	東洋医学概論 臓腑病証 脾1			東洋医学における消化器系（脾）の病態が理解できる			
6回	東洋医学概論 臓腑病証 脾2			東洋医学における消化器系（脾）の病態が理解できる			
7回	東洋医学概論 臓腑病証 肺1			東洋医学における呼吸器系（肺）の病態が理解できる			
8回	東洋医学概論 臓腑病証 肺2			東洋医学における呼吸器系（肺）の病態が理解できる			
9回	東洋医学概論 臓腑病証 心1			東洋医学における循環器系（心）の病態が理解できる			
10回	東洋医学概論 臓腑病証 心2			東洋医学における循環器系（心）の病態が理解できる			
11回	東洋医学概論 臓腑病証 腎1			東洋医学における泌尿器・免疫系の病態が理解できる			
12回	東洋医学概論 臓腑病証 腎2			東洋医学における泌尿器・免疫系の病態が理解できる			
13回	東洋医学概論 臓腑病証 肝1			東洋医学における泌尿器・免疫系の病態が理解できる			
14回	東洋医学概論 臓腑病証 肝2			東洋医学における泌尿器・免疫系の病態が理解できる			
15回	まとめ			全体のまとめ			